

## 巻頭 先生なら、どうしますか？

真面目な生徒のルール違反。見て見ぬ振りができなかった私が迎えた想定外の結末  
鳥取県立鳥取東高校 福島卓也

## 2 特集

# 3年生0学期目前！ 2025年度大学入試に向けた指導・支援を考える

18 発問・課題設定をキーに見る  
主体的・対話的で深い学び 授業実践

18 音楽  
北海道羽幌高校 小山知倫  
音楽的な見方・考え方を働かせ、自分の思いや考えを表現する力を高める

22 生物  
東京都・私立三田国際学園中学校・高校 大野智久  
概念的な知識の理解を重視し、「教え過ぎない授業」に  
お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

26 探究学習 伴走する教師たち  
東京都・私立多摩大学附属聖ヶ丘中学高校 出岡由宇  
たくさんの大人に会おう！ 地域の温かさの中で失敗を学びに変える生徒たち  
お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

28 そうだったのか！ 学習評価  
「主体的に学習に取り組む態度」の評価  
お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

30 生徒の可能性を引き出す 新進路選択支援 **新連載**  
北海道・私立札幌新陽高校  
ビジョンの「人物多様性」に基づき、個性を尊重した支援を追求  
お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

32 指導変革の軌跡  
徳島県立名西高校  
目標と指導と評価の一体化  
「育成したい6つの資質・能力」を意識した指導と評価で、生徒の主体性を育む  
お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

36 新課程レポート  
生徒のキャリア・進路観の醸成につながる  
デザイン思考を用いた「総合的な探究の時間」とは  
実践事例 宮城県宮城野高校  
お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

40 追跡！ 働き方改革  
生き生きと働き続けられる学校づくりへの挑戦  
愛媛県立松山南高校編  
第2回 負担感のある業務を見える化  
同僚性の向上と削減業務の見極めを図る  
お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

42 ともに生徒を育てる 地域と学校 **新連載**  
和歌山県・私立  
近畿大学附属新宮高校・中学校  
地域や医療の実態などを学ぶゼミが、生徒も地域も活力を得る場に  
お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

44 創り人からのメッセージ For Society, For School  
現代アート作家 富永ボンド  
つながりを通して伝えたい。  
アートにも人生にも「失敗はない！」ことを。  
お勤めの分掌 管理職 教務担当 進路担当 担任

52 Reader's VIEW

<https://view-next.benesse.jp/>

本誌記事は、ウェブサイトVIEWnext ONLINEでもご覧いただけます。

印刷製本／(株)協同プレス 編集協力／(有)ベンダコ 執筆協力／二宮良太、長谷川敦 撮影協力／荒川 潤、奥田敬輔、岸 隆子、鍋坂樹伸、萩 康博、ヤマグチイッキ イラスト協力／伊藤美樹、カモ  
※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。また、敬称略とさせていただきます。  
※本誌記載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。 © Benesse Corporation 2023

# 試に向けた指導・支援を考える

P.4 課題整理

## 2025年度大学入試の情報整理

ベネッセコーポレーション 教育情報センター センター長 谷本祐一郎

P.7 教科指導

## 2025年度大学入試で求められる力と教科指導

全体 ベネッセコーポレーション 進研模試 編集長 三宅悠介

国語 岡山県立岡山城東高校 田中誠一郎

歴史総合 愛知県立大府高校 野々山 新

情報I 兵庫県・私立雲雀丘学園中学校・高校 林 宏樹



P.14 進路指導

## 2025年度大学入試に向けた進路指導のポイント

北海道札幌北高校 進路指導部長 高桑知哉

福井県立若狭高校 キャリアサポートセンター室長 小坂康之

奈良県・私立西大和学園中学校・高校 高校1年生担任 梨子田 喬



### 姿、教師の役割

#### ③ 国公立大学を年内入試で目指す生徒が多い学校のケース

**生徒 BEFORE** 

拡大した年内入試に対して  
安易な進路選択を行う姿勢  
から

##### 学校現場でよく聞く声 (\*3)

- 進路選びについて生徒の「こだわり」が薄い。大学選択は「行きたい」より「入れる」。指定校や総合型での選択となる。
- 学習でのつまずきが多く、分からない部分はリセットされてしまう。

EMPOWERMENT

**生徒 AFTER** 

自分が生かせる志望先を探索・研究し、こだわりを持った進路選択ができる状態に。

指導の重点は  
「こだわり」を持った選択を促す進路支援。

＼ 選択肢を広げる /

指導の重点は  
学習環境担保で生徒の「分からない」を解消。

#### ④ 大学・専門学校・就職など、生徒が幅広く希望する学校のケース

**生徒 BEFORE** 

これまでの経験によって自己肯定感が低い状態から

##### 学校現場でよく聞く声 (\*3)

- 生徒の基礎学力と自己肯定感を高めたい。「やればできる」を実感させたい。
- 年内入試に伴う小論文、志望理由書作成の指導・対策に手間と時間がかかる。

EMPOWERMENT

**生徒 AFTER** 

自分自身の可能性に気づき、進路・学習に前向きになれる状態に。

指導の重点は  
前向きな声かけで生徒の自己肯定感を高め続ける。

指導の重点は  
義務教育範囲の学び直しから進路対応力育成まで。

3年生0学期  
目前!

# 2025年度大学入

生徒の意識を受験生へと切り替える、いわゆる3年生0学期が近づいてきました。当事者である現高校2年生が受験する2025年度大学入試は、新学習指導要領に対応した入試の実施初年度となります。大幅な改訂となった今回の学習指導要領の影響を最も大きく受ける入試が大学入学共通テストですが、同テストは国立・公立大学の一般選抜や私立大学の同テスト利用入試だけでなく、年内入試(\*1)における学力試験として課す大学も少なくありません。もちろん、国立・公立大学の個別学力検査や私立大学の個別入試も新学習指導要領に対応した内容になりますから、各校には、25年度入試に向けた今後1年間の生徒への指導・支援のあり方や計画をしっかりと考え、それらを実現・実行していくことが求められます。とは言え、下図のように、国立・公立大学志望者と私立大学志望者、一般選抜希望者と年内入試希望者、それぞれどちらを志望・希望する生徒が多いかなどによって、各校の生徒の課題や目指す姿、教師に求められる役割も異なるものと思います(下図は、多くの読者からご好評をいただいた、本誌8月号の特集のP.8に掲載した図8に、一般選抜で大学進学を目指す生徒が多い学校のケース①を加えた図です)。そうした各校の実情に合った指導・支援のあり方を考える際にお役立ていただくべく、本特集を企画しました。25年度入試に向けた指導・支援は、下図のAFTERの生徒の姿を実現するとともに、社会に出てからも生きる資質・能力を生徒に育成する大きな好機となるはずです。年内入試支援をテーマとした本誌8月号の特集とともに、今号の本特集がその一助になれば幸いです。

VIEWnext 編集部 統括責任者 柏木 崇

## 学校・生徒の状況によって異なる教師の役割 希望進路ケース(\*2)別 生徒の課題と目指す

### ① 選抜性の高い難関大学を一般選抜で目指す生徒が多い学校のケース

生徒  
BEFORE   
新課程・新入試の量的変化  
に対して、受動的に学習する  
姿勢から

学校現場でよく聞く声(\*3)

- 過去問題のない新課程入試に伴い、高い目標を目指そうとしない。
- 次世代リーダーの基礎力にもつながる探究の取り組みだが、通り一遍のもので終わっている。

EMPOWERMENT

生徒  
AFTER   
強み・弱みの把握に基づき、  
主体的に計画を立て、実行  
できる姿勢に。

指導の重点は  
学力のみならず粘り強さまで育む。

指導の重点は  
声かけの継続で生徒の背中を押し続ける。

### ② 国公立大学を一般選抜・年内入試で目指す生徒が多い学校のケース

生徒  
BEFORE   
年内入試希望者が増加して  
いる状況下で、安易に志望  
を下げてしまう姿勢から

学校現場でよく聞く声(\*3)

- 志望校へのこだわりが弱く、教師・保護者の認める大学へという志向が強い。
- 受け身的な学習で伸び悩む生徒をうまくサポートできない。

EMPOWERMENT

生徒  
AFTER   
希望する進路実現のために  
学びに向かう姿勢に。

指導の重点は  
「自分軸」が貫かれた志望動機づくり。

指導の重点は  
一般選抜・年内入試に応じた個別最適へと導く。

\*1 総合型選抜(旧AO入試)と学校推薦型選抜を指す。9~12月の年内に試験が実施され、合否が決まること多い両選抜を、ここでは「年内入試」と総称する。

\*2 ケース分けはあくまで例であり、複数ケースにまたがる学校等があるものと考えます。

\*3 入試に関連する声を抜粋。